



株式会社T&T  
比嘉武社長

# 心地よい「健康住宅」を目指す

近年の沖縄の住宅業界はいかがですか。全国的に住宅着工戸数は09年にピークを27・9%下落し、80万戸を切りました。沖縄では分譲着工数が65・9%ダウンした一方、持ち家は23%、貸家も9%増加、堅調でした。木造一戸建ては35・9%増、212戸で、全持ち家の8%になりました。

を考えました。シロアリは風が通らなところや湿度が多いところを好みます。0.1ミリの隙間があれば、基礎の間からも入ってきます。そこで土間、犬走り、基礎を三位一体で建てる工法を開発し、コンクリート部分の隙間を完全に封じました。結果的にこの工法は耐震性も強いことがわか

22年前、アメリカで通常の倍の釘を使う工法と、コンクリート車庫の2階を2×4にした住宅を学び、沖縄向けに改良し、その後在来軸組沖縄工法も開発致しました。この方式で宮古島に1棟建てたのですが、03年に最大瞬間風速74m/sを記録した台風14号に襲われた時、飛散物で屋

す。20年以上前は1%位でした。台風とシロアリに強い木造住宅が建てられるようになったからです。シロアリに強い木造住宅で定評ありますね。沖縄では台風とシロアリをクリアせねばなりません。木造住宅を始めた数年はシロアリに悩まされました。社員と共に床下にもぐり、新しい工法

りました。シロアリは風が苦手、風が入る基礎面に蟻道は作れません。壁体内にも通気層を設け、風を通しました。また、我が社健康住宅を指している、一般的な薬剤散布では環境に影響もあるので、シロアリの習性を利用したバイオ工法で防いでいます。

根元が損壊した以外は被害ゼロでした。発着用風車も基すべてが倒壊または損壊した時です。これをきっかけに宮古島に営業所を作り、順調に推移しています。14年、社会貢献活動もされています。01年に設立した日本増改築産業協会沖縄支部で初代支部長をしていた時、協会が毎年敬老の日に

一人暮らしや年金暮らしのお年寄りを対象にリフォームボランティアを始めました。今年で9年目です。住居に転倒防止用の手すりをつけるにいたった小さな仕事を、全額会社負担で行っています。社員や職人さんなどみなボランティアです。現場が忙しいときは大変ですが、毎年継続してこそボランティアの意義があると考えています。小さい会社ですが毎年新卒技術職を採用しているほか、他の企業を定年になられた60歳以上の方を雇用していることも社会のお役に立っているかと思っています。

2011年の目標は？「環境整備沖縄一」(ハダシで歩きたくなる現場)。建築現場は我が社の「シロアリ」です。今年第32期を迎えるにあたり、厚志(厚い)掃除を徹底します。また、リフォームは「マナー」が重要なサービスの一面を持っています。改めて、社員教育に力を尽くす決意です。

家づくり、夢づくり。

SINCE1980  
**T&T**  
THINK & TRY!

新築 275 棟、リフォーム 4,350 件の実績!!

<http://www.tandt-home.co.jp>

本社：那覇市銘苅 322-5 マエシロビル3F TEL.098-867-0708  
モデルハウス：沖縄市与儀 609-3 新編アワセベイ内 TEL.098-930-6555  
宮古島営業所：宮古島市平良字下里 3107-26 TEL.0980-74-2158